

教科名	科目名	単位数
工業	情報技術基礎	2

月	学習内容	主な指導内容	その他・検定
4	産業社会と情報技術 数の表現 コンピューターの構成	情報化社会の利点や問題点について理解させる 2進数・10進数・16進数について学ぶ コンピューターの種類や基本構成を理解させる	
5	文字の入力 ワープロソフトの基礎	キーボードを使った入力練習 英字・かな・漢字変換・文字の修正 ワープロソフトの機能を使い、30分で1枚の広告を作成する文書デザイン検定試験3級の演習をする	文書デザイン検定試験模擬問題集 3・4級編を使用する
6	文書デザイン検定演習	文書デザイン検定試験3級の合格を目指す 進度の早い生徒は2級にチャレンジさせる 2級出題(画像挿入・フォントの変更・ルビ・縦書き・図形の線種など)	6月上旬に文書デザイン検定試験の受験申し込みを行う
7	表計算ソフトの基礎	7月の第1日曜日に文書デザイン検定試験を実施する。(ただし、前後10日間移動も可能) 文書デザイン検定試験実施翌週より、表計算ソフトについて学ぶ	文書デザイン検定試験を実施
9	表計算の演習	情報処理技能検定試験 表計算3級の合格を目指す 3級出題(IF・MAX・MIN・ROUNDUP・ROUNDDOWN・ROUND・RANK・絶対参照など) 進度の早い生徒は2級にチャレンジさせる 2級出題(VLOOKUP・AND・OR・グラフ作成など)	情報処理技能検定試験 表計算 3・4級編を使用する 9月中旬に情報処理技能検定試験 表計算の受験申し込み
10	プログラミング基礎	10月の第2日曜日に情報処理技能検定試験 表計算を実施する。(ただし、前後10日間移動も可能) プログラム言語の種類について理解させる	情報処理技能検定試験 表計算を実施
11	アルゴリズム基礎	基本的な流れ図と構造化プログラミングの意義を理解させる 条件分岐、繰り返し処理、配列を理解させる	
12	プログラミング演習	JIS Full BASIC またはC言語を使いプログラミングの演習を行う	
1	プログラミングなど復習 プレゼンテーション作成 検定演習	産業社会と情報技術、数の表現、コンピューターの構成、アルゴリズム、プログラミングの復習をおこな プレゼンテーション作成検定試験3級合格を目指す 3級出題(図形描画、画像挿入、表の挿入・アニメーションの挿入) 進度の早い生徒は2級にチャレンジさせる 2級出題(グラフの作成、画面切り替え、アニメーションの応用)	1月中旬にプレゼンテーション作成検定試験の受験申し込みを行う
2		2月の第3日曜日にプレゼンテーション作成検定試験を実施する。(ただし、前後10日間移動も可能) プレゼンテーション作成検定試験実施翌週より、インターネットなどで生徒が主体的に情報を収集し、今まで学んできたソフトウェアを使用して、情報を処理・分析した資料を作成する	プレゼンテーション作成検定試験を実施
3		作成した資料を発表する	

検定試験の正式名称	日本情報処理検定協会主催 文書デザイン検定試験
	日本情報処理検定協会主催 情報処理技能検定試験 表計算
	日本情報処理検定協会主催 プレゼンテーション作成検定試験

ジュニアマイスター顕彰	文書デザイン検定試験	1級4点：2級2点：3・4級1点
	情報処理技能検定試験 表計算	初段7点：1級4点：準1級・2級2点：準2級・3・4級1点
	プレゼンテーション作成検定試験	1級4点：2級2点：3・4級1点

教科名	科目名	単位数	学年	授業担当者
工業	情報技術基礎	2		

使用教材	文書デザイン検定試験模擬問題集 3・4級編 情報処理技能検定試験模擬問題集 表計算 3・4級編 プレゼンテーション作成検定試験 3・4級編
科目のねらい 学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を適切に処理する知識・技術を習得させ、情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。 ・ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの技術を習得させる。 ・プログラミングの技術を習得させる ・ソフトウェアの特性を理解させ、ビジネスにおいて適切な選択ができるようになり、情報の収集・整理・分析・伝達する能力を習得させる。

評価について

関心・意欲・態度	・情報技術に関する基礎的な知識と技術に関心を持ち、ソフトウェアを使い情報を収集・整理・分析し、表現することに関心を持ち、検定に意欲的・主体的に取り組もうとする態度を身につけている。
思考・判断・表現	・情報処理の基礎的・基本的な知識と技術を基に目的に応じたソフトウェアを選択して利用・加工する能力を身につけている。
技能	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング技能を持ち、適切なアルゴリズムを考えることができる。 ・ワープロソフト・表計算ソフト、プレゼンテーションソフトを使い、それぞれに対応した検定試験に合格することができる。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな情報を適切に処理する能力がある。 ・検定試験に合格することにより、基礎的・基本的な知識を有し、情報に関する役割について理解している。

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への意欲や態度 ・課題(問題集)などの提出物 ・検定試験の合否・点数 ・定期考査
------	--

ジュニアマイスター顕彰	文書デザイン検定試験	1級4点：2級2点：3・4級1点
	情報処理技能検定試験 表計算	初段7点：1級4点：準1級・2級2点：準2級・3・4級1点
	プレゼンテーション作成検定試験	1級4点：2級2点：3・4級1点